

質

問

商店街活性化の取り組みについて



^原田議員▼

景気の低迷や大型店の出店、経営者の高齢化等により、商工業者数は10年前の139軒より約2割減少し、現在は112軒です。特に食品等の小売業は半減しています。

対策としてプレミア商品券に支援している

が効果を把握しているのか。
また設備投資に補助制度を設けているが活用が少ない。補助率を3割から5割にしても良いのではないか。

特に高齢者にとってこれ以上の商店の減少は、重要な問題であり、早急に商店街活性化振興計画を作成する必要があると思うが町長の考えを聞きたい。

^長屋町長▼

商店の減少は全国的問題です。

対策として、商工会

は事業継承者の意識調査や、都市圏での市場調査等を実施していく

ます。今後はこれらを基に、商工会と連携し

投資の増額も行っています。今後はこれらを企業振興補助は各事

業者向けの考え方だけではなく、買物弱者を出さないためにも、5割に増額してはどうか。

企業振興補助は各事

業者向けの考え方だけではなく、買物弱者を出さないためにも、5割に増額してはどうか。

^長屋町長▼

商工会の調査では、日用品の6割は地元で購入されています。

しかしそれ以外のもの、衣類家具書籍等は

1割前後です。

この部分をどうするかについて、事業者・

が効果を把握しているのか。

また設備投資に補助

制度を設けているが活用が少ない。補助率を3割から5割にしても良いのではないか。

特に高齢者にとって

これ以上の商店の減少は、重要な問題であり、早急に商店街活性化振興計画を作成する必要があると思うが町長の考えを聞きたい。

^長屋町長▼

商工会・町が連携して取り組まなければなりません」と考えます。

補助率についても、

3割から5割にしても

良いのではないか。

特に高齢者にとって

これ以上の商店の減少

は、重要な問題であり、

早急に商店街活性化

振興計画を作成する必

要があると思うが町長

の考えを聞きたい。

特に高齢者にとって

</